

令和3年度第28回石西礁湖自然再生協議会議事概要

日時：2021年7月27日(月) 12:30～16:00

場所：オンライン(webex)

■出席者

個人16、団体・法人16(21名)、地方公共団体5(6名)、行政6(14名) 計67名

※：個人委員と団体・法人委員の重複者数を差し引いた人数

■議事次第

1. 開会

2. 途中参加委員の承認

3. 報告

(1) 第4回部会の開催報告

(2) 環境省事業の実施状況について

(3) 竹富島南航路整備事業について

4. 議題

(1) 石西礁湖の現況を表すマップについて

(2) 「八重山の海を守るフレンドシップ(仮称)」検討WG設立について

(3) 石西礁湖ポータルウェブサイトの改修について

(4) 行動計画2019-2023 概要版について

(5) 自然再生施設の撤去と育成中のサンゴ活用について

5. 取組発表

ベルモントフォーラム国際公募プロジェクト COAST Card の紹介

ならびに協働のお誘い

6. その他

7. 閉会

1. 開会

2. 途中参加委員の承認

○砂川委員（八重山漁業協同組合）（推薦文）

一般財団法人沖縄県環境科学センターおよび佐川氏を推薦する。

○兼本委員（WAKE UP CALL）

ダイビングサービス SUNNYSUNNY を推薦する。

○木村委員（一般財団法人 自然環境研究センター）

ダイビングスクールあつまるを推薦する。

- ・1個人3団体の全希望委員を多数決にて承認した。

3. 報告

（1）第4回部会の開催報告

◎学術調査部会

○現況把握マップについて

- ・様々な意見があり、修正できるところは修正した。
- ・色覚にハンデのある方でも識別できるようにした。
- ・危機感を感じられるように配慮した。
- ・過去のデータが無いところを区別した。

○サンゴ礁健全度マップについて

- ・六角形の面積が広くバランスが良いほど健全であるように表現した。
- ・調査ポイントの写真をポータルサイト等で公開することを検討する。
- ・項目の選定理由や調査方法を注釈で示した。
- ・項目については引き続き議論し、修正してバージョンアップしていく。

○作業チームの進捗報告

- ・栄養塩について蓄積型リンに着目し、水文モデルも検討していく。
- ・効果的な対策や基準の設定などに向けて、役に立つ情報の提供を目指す。

◎普及啓発・適正利用部会

○マップの表現方法

- ・マップは試行版として公開する。
- ・ブダイや病気など主観が入りやすい項目や、SPSS など地点による違いが大きい項目の扱いをどうするのか等、再度検討する必要がある。
- ・観光に関わる宿泊施設や航空会社の協力を得て周知を検討する。
- ・各地点の個表や写真などを別途まとめて公開するよう検討する。

○ポータルウェブサイトの改修について

- ・行動計画 2019-2023 を掲載し、アクセスしやすくする。
- ・ワーキンググループのページも設ける。

- ・協議会委員リストを設け、各自のウェブサイトやSNSへのリンクを貼る。
 - ・公開するマップのページに、各調査地点の現在や過去の写真を一緒に掲載する。
- 石西礁湖自然再生全体構想行動計画 2019-2023 概要版について
- ・こども版のターゲット層をはっきりさせ、漢字やルビ振りをどの程度行うか検討する。また、実際に子どもたちに見せ、意見を聞いて作る。
 - ・こども版を、子どもたちが読んだ前後での意識や行動の違いを評価できるツールにできるとよい。
 - ・パンフレット「豊かなサンゴの海を守るために」との役割分担や、内容の引用を検討する。

◎海域陸域対策部会

○石西礁湖の現況等の表現方法について（マップについて）

- ・まずは試行版として公開する。
- ・データを追加して公開用とは別途作成するマップについて、「レジリエンスポテンシャル」という言葉は難しいので、わかりやすい名称にする。

○陸域負荷対策（栄養塩）について

- ・リンの海域流入については畜産関係の影響が大きいことを考慮する。
- ・蓄積型リンのサンプリングは、まずは試行としてサンゴ群集モニタリング調査の地点で実施し、栄養塩の負荷量を考慮した調査設計を行う。
- ・地下水経由の栄養塩の拡散についても調査を検討する。
- ・たい肥センター等を含めて経済的な側面を含めたストーリーを考える。

◎漁場再生ワーキング

- ・管理している種苗を基にした漁場再生のロードマップ作りを進めている。

（２）環境省事業の実施状況について

◎サンゴ群集モニタリング調査

- ・引き続き調査を行い、白化の状態等注視する。
- ・調査に合わせて栄養塩類に関する底質のサンプリングを行う。

◎石西礁湖サンゴ群集修復事業

- ・12月ごろに種苗生残率の調査を行う。
- ・異常高水温時に架台を退避する場所を選定する。
- ・12月ごろに藻類除去後の着生した稚サンゴの調査を行う。

◎オニヒトデ監視駆除

- ・引き続き、石垣島周りでも調査を行う。

◎部会長の任期

- ・任期を揃えるために、令和4年7月の第30回協議会にて時期部会長、副部会長を決定する。

◎所属部会の登録

- ・メーリングリスト等を通して所属部会を整理する。

【検討事項】

◎石西礁湖サンゴ群集修復事業

- ・海藻除去事業は、再生する空間的な規模について検討を行う。
- ・幼生供給事業は、将来的な供給エリアを想定した効果の検討を行う。
- ・大規模白化の周期から逆算して供給拠点整備を行う。
- ・現実的な目的、ターゲット設定を行い、優先的に回復させる海域の絞り込みを行う。

(3) 竹富島南航路整備事業について

◎竹富島南航路整備事業

- ・10月末までに残り49ヶ所の施工を終える。

◎石垣新港旅客船ターミナル整備事業

- ・今年度の3月末までに岸壁420mを完成させる。
- ・濁り防止のため、1船団ずつ作業を行い、ウエイトチェーンは60kgのものを用いる。

【検討事項】

◎石垣新港旅客船ターミナル整備事業

- ・竹富島東における海岸線の変化について、浚渫と潮流の変化の観点から調査を行う。

4. 議題

(1) 石西礁湖の現況を表すマップについて

【今後の方針】

◎一般公開用マップ

- ・軽微な修正後、まずは円グラフの方を試行版としてポータルサイトでリリースする。
- ・各委員のウェブサイトやSNSでリンクを貼っていただく。
- ・レーダーチャートの方はさらに検討していく。
- ・石垣島南部の表記を竹富島南部に修正する。

【検討事項】

◎一般公開用マップ

- ・水質、水温、透明度を数値化して追記する。
- ・被度について解説する。
- ・島の中にある青と黒の線を消す。
- ・レーダーチャートの方は満点の科学的根拠を示す。
- ・一般に向けた対策を呼び掛けるメッセージを追加する。

(2) 「八重山の海を守るフレンドシップ（仮称）」検討WG 設立について

【今後の方針】

- ・「八重山の海を守るフレンドシップ（仮称）」を新しいワーキングをする。
- ・フレンドシップの対象とその仕組み、インセンティブ、普及戦略や行動計画、運営のためのツール、リソース、スキーム、認定のためのガイドラインの検討を行う。

【検討事項】

- ・特になし

(3) 石西礁湖ポータルウェブサイトの改修について

【今後の方針】

- ・新情報と旧情報の整理を行う。
- ・URL および QR コードで検討サイトをオープンし、意見をいただく。
- ・部会の資料を公開する。

【検討事項】

- ・特になし

(4) 行動計画 2019-2023 概要版について

【今後の方針】

- ・概要版は作成する。
- ・日本語の概要版について、ポータルサイトへの掲載に向けて意見をいただく。
- ・子供版は H30 作成の「豊かなサンゴの海を守るために」を情報更新し、子どもたち自分ができる自然再生の取組みや行動に移したくなるようなページを追加する。

【検討事項】

- ・スマートフォン表示に適したフォーマットで公開する。
- ・読んだ人に何をしてほしいのかメッセージを記載する。

(5) 自然再生施設の撤去と育成中のサンゴ活用について

【今後の方針】

- ・維持するよりできるだけ自然な状態に戻す。
- ・育っている大きなサンゴは周辺に移植し、架台など人工物は早急に撤去する。

【検討事項】

- ・健全なサンゴをサンゴ学習に活用する。

5. 取組発表

ベルモントフォーラム国際公募プロジェクト COAST Card の紹介
ならびに協働のお誘い

【今後の方針】

- ・ 地元の人など様々なステークホルダーと共に共同体制を作る。
- ・ 学術調査部会が着目するレジリエンスに注目したデータ整理は、背景にある社会経済的要因を含めて総合的に判断するところを役割分担しながら共同する。
- ・ 一般に分かりやすく見せる部分も一緒にやっていく。
- ・ テーマごとに、石西礁湖自然再生協議会の部会等に連携の提案を具体的に行っていく。

【検討事項】

- ・ 「八重山の海を守るフレンドシップ（仮称）ワーキング」に一部委託するような形で連携を行う。

6. その他

◎今後のスケジュール

【今後の方針】

- ・ 11/9 に全国自然再生協議会のホストとして開催する。
- ・ 2月までに、3部会、協議会を可能な限り対面での開催を検討する。

【検討事項】

- ・ 特になし

◎JTB ポンツーン設置について

【今後の方針】

- ・ 普及啓発・適正利用部会と事務局で相談し、情報整理を行う。

【検討事項】

- ・ JTB の方に協議会か部会にきていただき、具体的な話を伺う。

◎協議会の内容について

【今後の方針】

- ・ 特になし

【検討事項】

- ・長期目標のどの位置にいるのか評価を行う。
- ・全体目標に取り組めていない課題、近々の緊急の課題を共有する。

7. 閉会

以上